

日々の点検・整備で事故を未然に防止

安全確保は、運送事業者の社会的責務であり、事故を未然に防ぐための点検・整備は不可欠です。そこで、トラックの点検・整備を怠った場合のリスクと、日々の点検・整備を習慣化するための効率の良い点検手順を紹介します。

点検・整備を怠ったために起こる事故

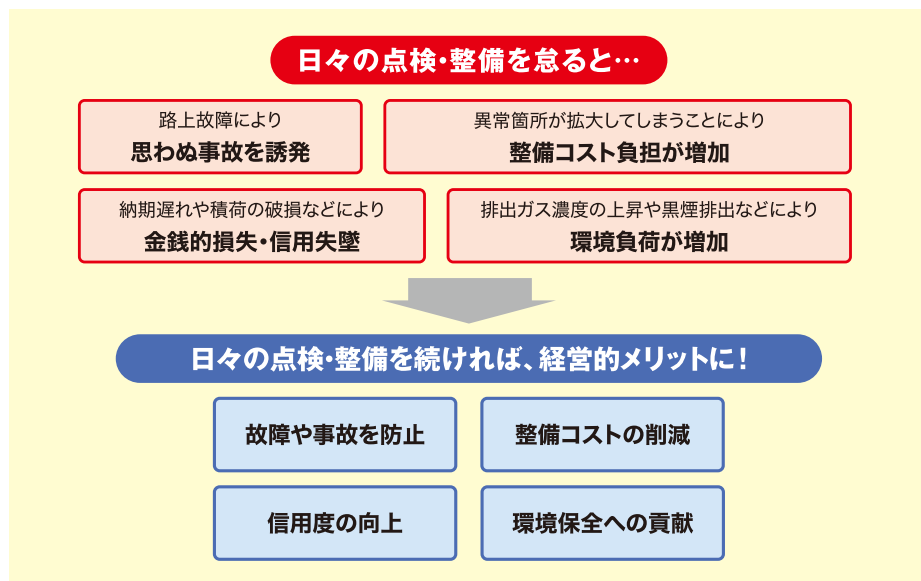
交通事故原因の大部分は、スピードの出し過ぎや不注意運転などの運転操作ミスです。しかし、車両の故障や路上故障が交通事故の原因となることも少なからずあります。

トラックの故障に起因する重大事故において、原因を装置別に見るとタイヤやホイールなどの足回りに関するものが4割近くを占めています。日々の点検・整備を行ってれば防げたかもしれません。

これらの箇所は、整備不良や過度の使用によってトラブルが発生しやすく、故障が起ると、火災や衝突、脱輪などの重大事故に結びついています。車両故障による事故や渋滞などの発生を未然に防ぐことは、運送事業者の責務です。「運行前の日常点検を確実に実施し異常箇所を整備すること」が、毎日の安全運行につながります。

日々の点検・整備に努めて、経営的メリットに

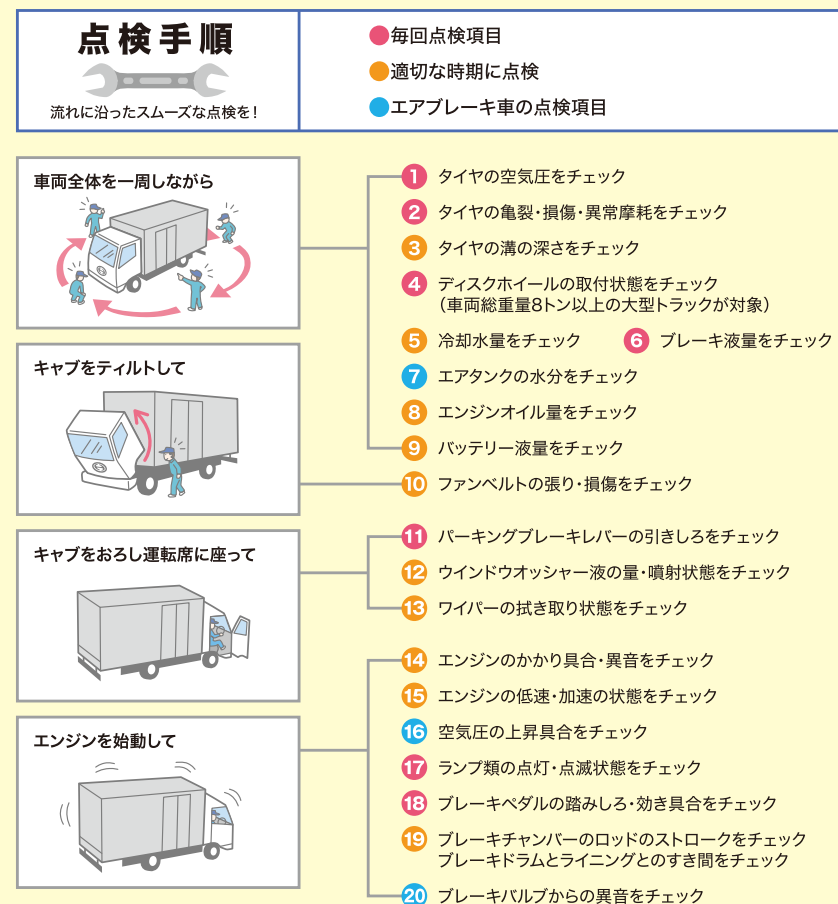
点検・整備を行ってればさまざまなリスクを回避できます。さらに、それらを経営的メリットに変えていくことも可能です。



出典：国土交通省「自動車運送事業用自動車事故統計年報(自動車交通の輸送の安全にかかわる情報)(平成29年)」

効率の良い点検方法を習慣化

効率の良い方法を知れば、点検は面倒ではありません。以下のような流れで実施し、習慣化してください。



詳細については、公益社団法人 全日本トラック協会「事業用トラックの点検整備ハンドブック」でご確認ください。

2018年10月から大型トラック・大型バスのスペアタイヤの点検が義務化されています

車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の大型自動車の3カ月ごとに行う点検項目に、2018年10月からスペアタイヤおよびツールボックスの点検が追加されました。

- スペアタイヤ取付装置の緩み、がたつき、損傷
- ツールボックスの取付部の緩みおよび損傷
- スペアタイヤの取付状態

出典：国土交通省「大型トラック・大型バスのスペアタイヤの点検が義務化されます」

日々の点検・整備を習慣化し、安全確保の徹底を!